

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	脳室内病変に対する軟性神経内視鏡手術の難易度評価
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2016年10月から2022年3月までに新潟大学脳神経外科に於いて経頭蓋経由で神経内視鏡を用いて洗浄術を行った患者 過去の研究課題名：なし 研究責任者 藤井 幸彦
③ 概要	神経内視鏡での脳室内操作の難易度は脳室拡大の有無にあります。脳室拡大の指標には Evans Index(EI)や Frontal Occipital Ratio(FOR)がありますが、穿刺部や内視鏡操作部分の脳室の大きさを反映しておりません。EI や FOR が同値でも頭囲が異なれば脳室の大きさは異なります。近年画像閲覧ソフトで容易に再構築画像を速やかに作成することができます。今回我々は実際に脳室穿刺する側脳室前角部分の脳室幅を anterior horn width(AHW)と定義し、AHW を指標として内視鏡手術の難易度を検討致します。
④ 申請番号	2022-0152
⑤研究の目的・意義	脳室内病変に対する神経内視鏡手術で脳室穿刺する側脳室前角部分の脳室幅（AHW）に着目して内視鏡手術の難易度を検討する。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2025年3月末まで
⑦情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	電子カルテに保存されている病歴及び画像を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴、年齢、性別、脳室の大きさ、脳室穿刺部位、手術術式、手術時期、ナビゲーション使用有無、術前診断、病変の局在、病理診断、手術合併症
⑨利用する者の範囲	新潟大学 脳研究所 脳神経外科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 脳研究所 脳神経外科 教授 藤井 幸彦
⑪お問い合わせ先	脳神経外科医局 025-227-0653 shindainougeka@bri.niigata-u.ac.jp